

2007/12/15

小川町町長 笠原喜平様

嵐山町 大気と水と大地の会
代表：弥永健一

公 開 申 入 書

私たちは、この地域に残された緑を保全し、次世代に残すことを願っているものです。気候変動の大波が姿を見せはじめているいま、小川町で進められている有機農業や自然エネルギーについての取り組みからも学びつつ、地域社会の今後について考えようとしています。そのなかで、エネルギーを大量に使用する企業、大量の温室効果ガスを排出する施設などについても、その実態と今後の動向について把握し、地域の将来のあり方、温室効果ガス排出量削減の進め方について考えることが必要だと思っています。また、気候変動に伴い、災害の頻度、強度もこれまでにないものになりつつあることから、激甚な災害時において、私たちの周辺地域にある企業から排出、漏出されるおそれのある危険物質についても情報を得ておくべきだと思っています。そのために、先ず小川町で建設が進められているホンダ新工場について、貴町では把握されて居られると思いますので、以下のことをおたずね致します。

- 1) ホンダ新工場（ホンダトレーディングを含む）から排出される温室効果ガス排出量の想定量及び削減計画について教えてください。
- 2) 同工場で使用される予定のエネルギー量（電力、天然ガス）について教えてください。
- 3) ホンダトレーディングでは、エンジン鑄造用のアルミ合金溶解などが行われるようですが、その作業に用いられる化学物質など危険・有害物質があれば、それらの内容、使用量について教えてください。
- 4) ホンダ新工場からの排水は嵐山方面に流出する経路もあると聞いていますが、その量及び、含まれる物質について教えてください。

以上について、新年が明けてからご都合のよろしいときに、お話しに伺いたいと思っています。ご返事はその際に文書でいただきたいので、よろしくご配慮ください。